

製品ラインナップ

製品名	淡水タイプ MT-1 セメントや海水を含まない泥土に対応	万能タイプ MT-2 あらゆる泥土に対応	海水タイプ MT-3 海水を含む泥土に対応
性状/荷姿	白色粉体/ポリ袋 (15kg)	灰色粉体/ポリ袋 (15kg)	灰色粉体/ポリ袋 (18kg)
添加量	約 2 ~ 8 kg/ m ³	約 1 ~ 5 kg/ m ³	約 1 ~ 5 kg/ m ³
規格	通常泥土対応型	通常泥土・セメント泥土対応型	海水泥土対応型
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 泥土中の水分を吸収し、バサバサとした性状に改良 ○ 泥土に付着した瞬間に反応が始まるため、軽く混合するだけで改良が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 泥土中の水分を吸収かつ粘性を向上し、モチモチとした性状に改良 ○ 溶解した成分が土粒子に絡まることで効果を発揮するため、十分な混合が必要 ○ 発じん抑制処理を施しているため、風が強い現場でも飛散を低減 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 泥土中の粘性を向上し、モチモチとした性状に改良 ○ 溶解した成分が土粒子に絡まることで効果を発揮するため、十分な混合が必要 ○ 発じん抑制処理を施しているため、風が強い現場でも飛散を低減
適用対象土	<ul style="list-style-type: none"> 河川浚渫土 推進・シールド余剰泥水 ため池堆積土 建築現場等の掘削泥土 豪雨災害等の発生泥土 各種建設汚泥 	<ul style="list-style-type: none"> 河川・港湾浚渫土 推進・シールド余剰泥水 ため池堆積土 建築現場等の掘削泥土 豪雨災害等の発生泥土 各種建設汚泥 地盤改良・杭打ち泥土 	<ul style="list-style-type: none"> 港湾浚渫土 海水を含む各種泥土

使用上のご注意・お知らせ

- 本製品ご使用の際は、防じんマスクおよび保護手袋を着用し、改良対象土へ散布してください。
- 本製品は非常に少ない添加量で改良可能です。標準添加量の範囲内でご使用ください。
- 本製品を均一に混合するため、鋼製水槽やビット内での混合を推奨いたします。
- MT-2・3は低添加量で泥土を塑性状態に改良可能ですが、これらは十分に混合することでその効果を発揮します。したがって、改良土量が多い場合や混合が困難な場合はドライブミキシング等のバックホウアタッチメントによる改良を推奨いたします。
- MT-1 処理土にセメントや石灰等を添加すると、泥土中の水分が一部排水される場合がございますので、ご使用の際は事前配合試験にてご確認ください。
- 本製品にはセメント・石灰は一切含まれておりません。
- 本製品を屋外で保管する際は、日光や雨水に当たらないようブルーシート等で覆ってください。
- 本製品サンプルは無償でご提供しておりますので、ご希望のお客様は弊社または販売店までお問い合わせください。
- 弊社では現地採取土を用いた配合試験を無償で実施しております。原泥を 20L 程度お送りいただければ土質試験室にて配合試験を実施し、即時運搬可能となる本製品の最適添加量を算出いたします。

株式会社 森環境技術研究所

〒996-0071 山形県新庄市小田島町 7-36

TEL : 0233-22-0832

FAX : 0233-22-0932

mail : mt@mori-kankyo.co.jp

web : www.mori-kankyo.co.jp



2024年7月改訂

「泥」で悩む時間に、サヨナラ。

高含水泥土改良剤

MTシリーズ®

NETIS 登録番号 TH-160012-VR

ARIC NNTD 登録番号 1335

東京都建設局新技術 登録番号 2023001

静岡県新技術新工法 DB 登録番号 1757

北海道建設部新技術情報提供システム 登録番号 20241003



泥を搬出するための新しい選択肢



高含水泥土改良剤 MT シリーズとは？

私たちの周りでは、洪水を防ぐための河川改修工事や高速道路を延伸する際のトンネル工事など様々な工事が行われていますが、これらの現場からは意外にも多くの泥が発生します。

泥は流動性が高く工事の妨げになるため、これまでは現場内で天日乾燥させたり、セメントや石灰で固化してから運び出していました。

しかし、これらの従来方法では、天日乾燥させる際の広い敷地が必要であったり、固化するまでに時間がかかるなど様々な問題を抱えていました。

そこで、これらの問題を解決するため、泥をすぐに固めて簡単に運び出すことができる「高含水泥土改良剤 MT シリーズ」を開発しました。

使用方法

使い方はとても簡単です。バックホウとピットさえあれば誰でも簡単に施工することができます。

- 1 泥をピットに投入
- 2 MT シリーズが泥全体に行き渡るよう、広く薄く散布
- 3 バックホウで 15 分程度混合（ドライブミキシング等を使用すると、より均一に混合することができます）
- 4 MT 処理土をダンプトラックに積み込み、搬出



泥をピットに投入



MT シリーズを添加



バックホウで 15 分程度混合



ダンプトラックで搬出

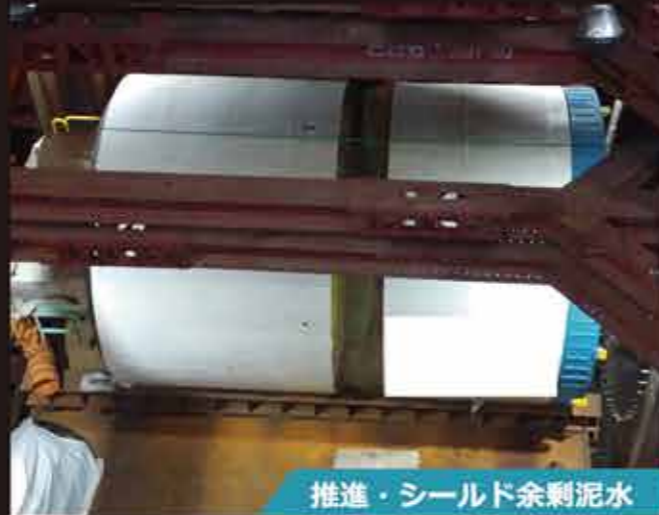
あらゆる泥に適用可能



適用対象土



河川・港湾浚渫土



推進・シールド余剰泥水



ため池堆積土



杭打ち泥土



建築現場等の掘削泥土



豪雨災害等の発生泥土

特長



すぐに搬出可能

本製品添加後、バックホウで15分程度混合すると泥が塑性状に改良され、すぐにダンプトラックで搬出できます。



低添加量

本製品は約1~8 kg/m³と非常に少ない添加量で泥を改良できます。



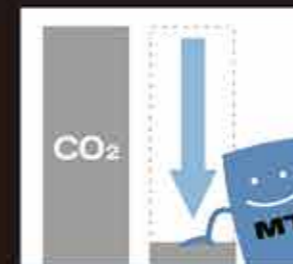
環境に優しい

本製品のpHは中性、土壌環境基準全項目クリア、ヒメダカへの安全性確認済みで、安全かつ環境に優しい製品です。



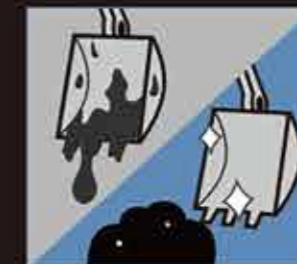
発じん抑制

MT-1は顆粒状、MT-2・3は特殊な発じん抑制処理を施しているため、風が強い現場でも飛散しません。



CO₂排出量削減

セメントや石灰で泥を搬出する場合に比べて、本製品は約90%のCO₂排出量を削減できます。



ハンドリング性向上

MT-2・3は金属への付着を軽減する成分が含まれているため、処理土がバックホウやダンプトラックに付着しづらく、ハンドリング性が向上します。



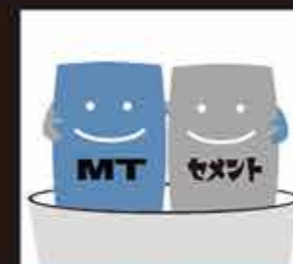
常温で改良可能

生石灰で土質改良すると大量の熱が発生しますが、本製品は常温で改良できます。



1年後でも使用可能

本製品は特殊なレーザー加工を施したポリ袋に梱包しているため、未開封であれば1年後でも問題なく使用できます。



固化材と併用可能

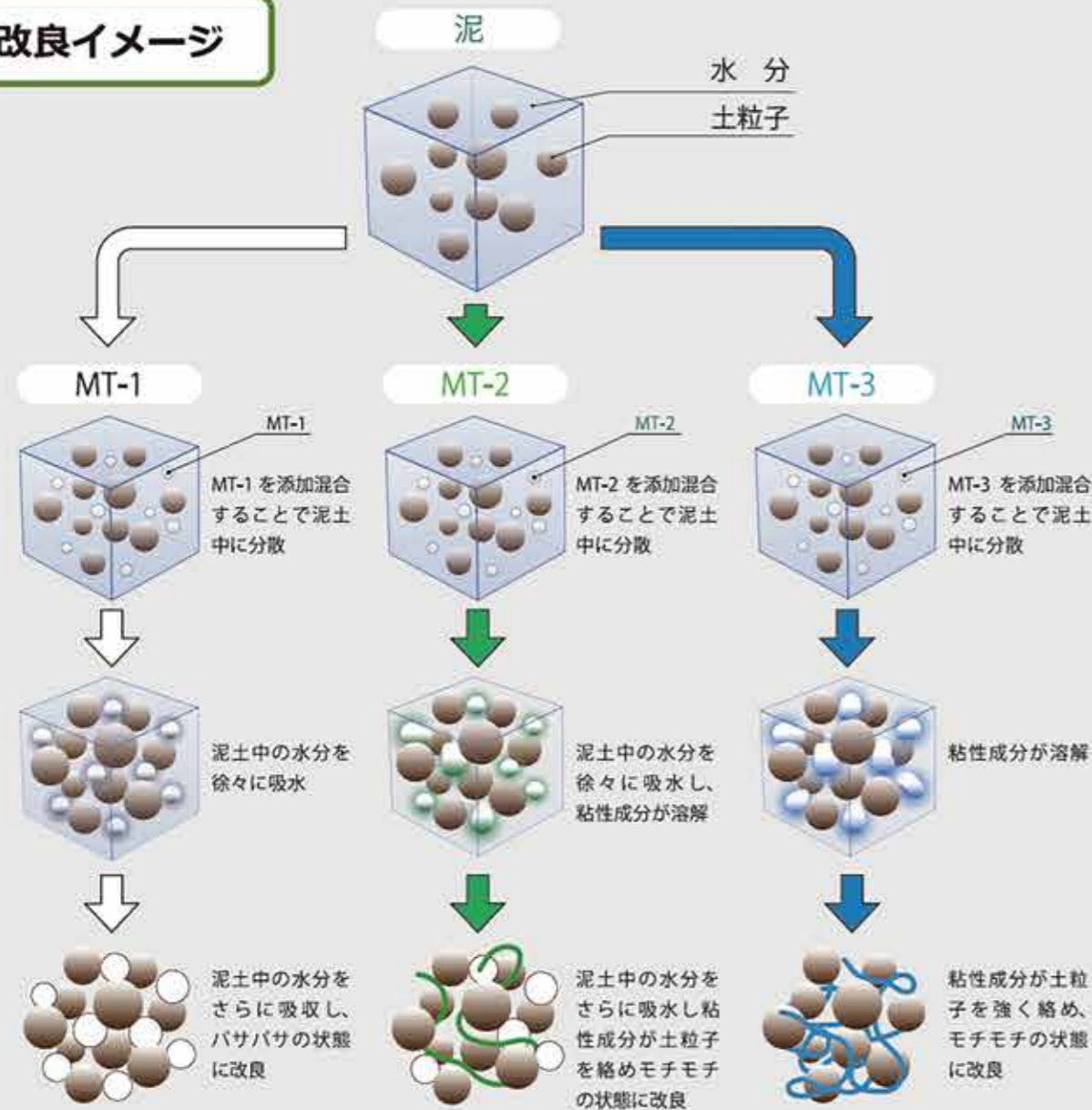
本製品はセメントや石灰などの固化材と併用しても、改良効果や強度発現にほとんど影響を与えません。(MT-1除く)



NETIS登録製品

本製品はNETIS(国土交通省新技術情報提供システム)登録製品です。国交省発注工事で本製品をご使用いただくことにより、工事成績評定時の加点対象となります。

改良イメージ



採用実績



MT 処理土を盛土材等に使用する場合

MT シリーズは泥土中の水分を吸水することで運搬可能な性状に改良する製品であるため、改良直後はほぼ強度がありません。

MT 処理土を盛土材等に使用する際は、下記(1)~(3)いずれかの処理を行っていただき、利用用途に応じた品質をご確認ください。



(1) MT 処理土を天日乾燥させる

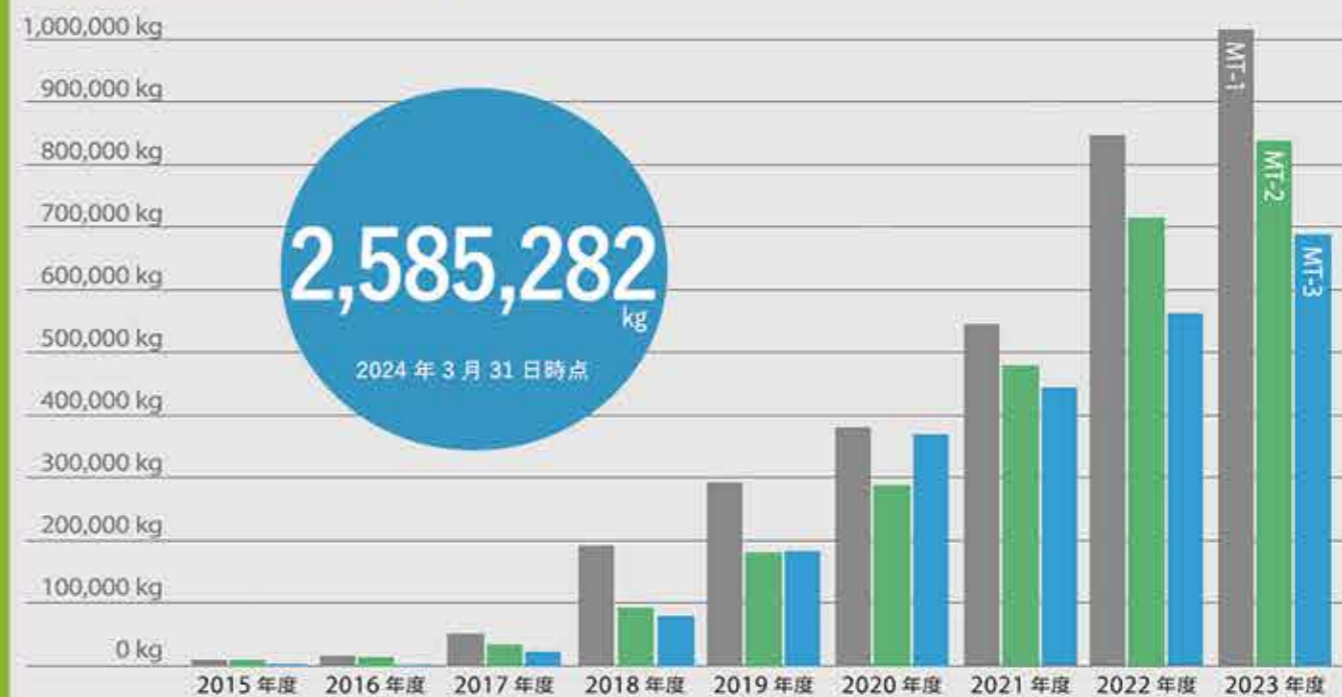


(2) MT 処理土に良質土を混合する



(3) MT 処理土をセメントや石灰等で改良する

累計出荷数量



○ダム堆積土

本工事は新規ダム建設に伴う付替え道路の橋脚を設置する工事です。ダムに堆積した土砂をMT-2で改良し、数km離れた仮置き場へ即時搬出しました。



○ため池堆積土

本工事はため池の堤体盛土および取水施設の築造を行う工事です。ため池内に堆積した泥土をMT-1で改良し、約10km離れた土砂処分場へ即時搬出しました。



○河川浚渫土

本工事は河川に堆積した土砂を浚渫し、河積を確保するための工事です。浚渫土砂をMT-2で改良し、約10km離れた仮置き場へ即時搬出しました。



○港湾浚渫土

本工事は漁港内に堆積した土砂を浚渫する工事です。グラブ船で浚渫した泥土をMT-3で改良し、約22km離れた仮置き場へ即時搬出しました。



○泥土圧シールド余剰泥水

本工事はゲリラ豪雨の際、市街地への浸水を防ぐための貯水管を築造する工事です。泥土圧シールド工法から発生した余剰泥水をMTシリーズとセメント系固化材を併用し、現場から搬出しました。



○泥濃式推進余剰泥水

本工事はメガソーラーから工業団地への電力管を埋設する工事です。泥濃式推進工法から発生した余剰泥水をMT-1で改良し、中間処理施設へ即時搬出しました。



○杭泥土

本工事は都内におけるマンション建設工事です。摩擦杭施工時に発生したセメントを含む泥土をMT-2で改良し、現場内の仮置き場へ即時搬出しました。



○杭泥土

本工事は排水機場の建設工事です。中掘杭工法による杭打設時に発生した泥土をMT-2で改良し、仮置き場へ即時搬出しました。

